

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和２年度第２回（通算３回）ジョンソン基地跡地利用計画審議会
開 催 日 時	令和２年１０月７日（水） 午前１０時００分 開会・午前１１時２０分 閉会
開 催 場 所	入間市市民活動センター３階 活動室１
議 長 氏 名	関根 栄一（ジョンソン基地跡地利用計画審議会会長）
出席委員（者）氏名	天野 真治、安登 利幸、池田 拓、織田 文代、熊木 真知子、 小嶋 文、小林 昌幸、菅原 聡、関根 栄一、藤田 勝仁、 三浦 重美、水村 小百合、山畑 雅廣
欠席委員（者）氏名	岩崎 茂、齊原 潤
説明者の職氏名	企画課政策推進室長 石原 健二 企画課政策推進室主幹 山本 優
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 （公開） 答申案の最終確認について 4 答申 （非公開） 5 市長あいさつ 6 事務連絡 7 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	０名
配 付 資 料	令和２年度第２回（通算３回）ジョンソン基地跡地利用計画審議会 次第 資料 12：ジョンソン基地跡地留保地（入間市駅前側）の利用計画に ついて（答申）（案）
事務局職員職氏名	企画部長 鳥山 政之 企画部次長 浅見 嘉之 企画課政策推進室長 石原 健二 企画課政策推進室主幹 山本 優 企画課政策推進室主任 中島 良太
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

議題 答申案の最終確認について

議題について事務局から説明した後、スクリーンに投影した答申案をもとに審議がなされた。

審議の中で委員から修正意見があったため、事務局は、委員同士の意見交換を踏まえて作成した修正案をスクリーンに再度示した。

数回の修正作業を経て、スクリーンに投影された答申案が審議会の結論として議決された。

議題終了後、会長から市長に答申が行われ、市長より御礼のあいさつがあった。

その後、事務局から事務連絡をして閉会した。

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する。)</p> <p>答申案の最終確認について</p> <p>関根会長 それでは、議題「答申案の最終確認について」事務局から説明をお願いします。</p> <p>山本主幹 答申案の最終確認について、資料に沿って説明する。(資料 1 2 に基づいて説明)</p> <p>関根会長 事務局より、前回会議における協議内容の整理と、その協議内容をまとめた答申案の説明があった。この答申案に対する委員の皆様の意見、または事務局の説明に対しての質問をいただきたい。答申案に対して修正の意見がある場合は、事務局が適宜修正案を示すとのことなので、事務局に伝えていただきたい。</p> <p>天野委員 今後の様々な可能性を踏まえて作成されていると思う。特に意見はない。</p> <p>安登委員 内容的には問題ないと思う。一点だけ、2 (1) ①のところに「通学する学生の道路利用により」とあり、学生に限定された利用と読み取れてしまう。「通学する学生等の道路利用により」とした方がよい。</p> <p>石原室長 意見のとおり修正したい。</p> <p>池田委員 前回会議で発言した、子どもたちの未来のために、明るく魅力あるまちにして欲しいという意見が踏まえられた内容になっていると思う。</p>

発 言 者	発 言 内 容
織田委員	よくまとまっている。大学としては、安全性の確保が第一条件だと考えている。
熊木委員	米印のところに補足事項も書いてあるので、よろしいかと思う。
小嶋委員	補足事項に歩行者のことや道路整備後のまちづくりの方向性なども示されているので、事務局案に賛同する。強い意見ではないが、2（1）①の「道路を中心とした留保地一体の活性化が期待される。」について、前回会議で入間市駅を利用する学生などが増えるという主旨だったので、「入間市駅周辺の活性化が期待される。」としてもよいのではないか。
菅原委員	一点、2（2）について、文面が弱いと感じる。「望ましい」ではなく「必要がある」、ベターではなくマストという強い文面が必要なのではないか。修正案として、「道路の形状、ライフライン能力により土地利用の制限が生じる恐れがあるため、道路周辺土地利用の概略計画を決めてから道路を整備する必要がある。」としてはどうか。
石原室長	皆様から一通り意見をいただき、最後に確認させていただきたい。
藤田委員	よくまとまっていると思う。特に意見はない。
三浦委員	事務局案に同意する。一点質問で、補足事項④に「土地利用のテーマ」とあるが、そのような議題はあったらどうか。
石原室長	土地利用のテーマについては、現在計画を見直しているので、そちらで改めて設定していく。
水村委員	特に意見はない。

発 言 者	発 言 内 容
山畑委員	特に意見はない。
関根会長	ただいま委員からあった意見による修正案を、事務局から示していただきたい。
石原室長	まとめる時間をいただきたいので、暫時休憩とさせていただきますよろしいか。
関根会長	<p>休憩とする。</p> <p>(午前10時23分 休憩)</p> <p>(午前10時32分 再開)</p>
関根会長	ただいま委員の皆様から意見を伺い、大方の委員から賛同の意見をいただき、数名の委員から修正の意見があった。事務局から修正案を示していただきたい。
石原室長	いただいた意見のうち、菅原委員からの修正意見については、スクリーンに事務局案原文と修正案文を併記した。大方の委員からは特に意見がなかったが、この部分について改めて意見を伺いたい。
関根会長	何か意見はあるか。
菅原委員	この意見とした理由を先に述べたい。本来は土地に建てるものが決まり、その内容に基づいて道路やライフラインが決まってくるが、今回は道路を先に決めるということである。その場合、周りに建てるものの概略の

発 言 者	発 言 内 容
	<p>計画だけは先に決めておかないと、道路の形状は決まらないと思う。例えば、公園を造るのであれば、土のため雨水は地下にたまっていくので問題ないが、建物を建てるとなると、降った雨が道路に流れていくため、下水を通して排水しなければならない。後から周りに建てるものが決まり、道路を造り直す必要が生じると、将来への二重投資になってしまう。しかしながら、道路の形状に基づいて周辺の活用を決めるとなると、土地の利用に制限ができてしまう恐れがある。ある程度土地の利用を決めてから、道路を設計していただきたいという思いから、このように意見させていただいた。</p>
関根会長	<p>小林副会長からの意見を伺いたい。</p>
小林副会長	<p>菅原委員の意見の側面もあるが、初めから土地利用を決めるとなると、道路の整備が進まなくなってしまう。ある程度見越したところで整備をしてもよろしいのではないか。ライフラインは土地利用が決まってからも変わる可能性がある。菅原委員の意見は専門家として素晴らしいと思うが、あまり詳細まで決めすぎなくてもよいのではないかなと思う。</p>
菅原委員	<p>小林副会長からの「あまり詳細に決めすぎない」という意見を受けて、「概略計画」を「基本計画」または「素案計画」としたい。</p>
石原室長	<p>「1 答申内容」に「利用計画の見直しと併せて、留保地の一体的な活用も視野に入れて」とあり、この「利用計画」という文言の中に菅原委員からの意見を含めることはできないかと考え、事務局としては原文のままとさせていただきたい。</p>
菅原委員	<p>非常に大事なことを「望ましい」という形で捉えられていることに問題がある。道路の形状やライフラインが、利用計画の足かせになる可能性がある。</p>

発 言 者	発 言 内 容
安登委員	<p>あるため、道路整備はしっかりやりましょうということを明らかにしたい。</p> <p>文章表現の問題で主旨は変わらないと思う。「道路の形状」という表現は「ライフライン」の前にあってもよいと思う。「道路周辺の土地利用を決めてから」という部分は、原案の方が厳しい内容とも読み取れるので、主旨としては同じかと思う。「望ましい」という部分は、文書全体のバランスからすると、ここだけ表現が少し弱いかなと私も感じる。</p>
石原室長	<p>ただいまの意見を踏まえて、事務局案を修正する。「道路の形状、ライフラインの埋設等を考慮すると、道路周辺の土地利用を決めてから道路を整備する必要がある。」とするのはいかがか。</p>
菅原委員	<p>文面が逆に強くなったように思う。私の意図しているところはこれよいと思うが、「土地利用を決めてから」と限定してしまうと、行政側としては大変になるのではないかと思い、「基本計画」や「素案計画」に落とし込んだところがあった。</p>
石原室長	<p>再度修正する。「道路の形状、ライフラインの埋設等を考慮すると、道路周辺の土地利用を踏まえて道路を整備する必要がある。」としたい。</p> <p>また、他に修正した箇所も申し上げる。2（1）①「…また、通学する学生等の道路利用により、道路を中心とした留保地を含む入間市駅周辺の活性化が期待される。」としたい。</p>
関根会長	<p>事務局からの修正案について、何か意見等はあるか。</p>
委員一同	<p>（特になし）</p>

発 言 者	発 言 内 容
関根会長	<p data-bbox="467 309 1426 409">他になければ、本審議会の結論として、諮問に対する答申書をスクリーンに映している内容で決定してよろしいか。</p> <p data-bbox="483 499 914 533">【スクリーンに投影された答申案】</p> <div data-bbox="467 544 1426 2009" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p data-bbox="483 566 659 600">1 答申内容</p> <p data-bbox="483 633 1410 790">ジョンソン基地跡地留保地利用計画に位置付けている、入間市駅南口交通広場と馬頭坂線を接続する道路の先行整備の可否について、当審議会は「可」と判断します。</p> <p data-bbox="483 813 1410 1048">市民の利便性の向上等を考えると、早期の道路整備の必要性があると判断します。ただし、利用計画（平成20年6月策定）の見直しと併せて、留保地の一体的な活用も視野に入れて整備時期の検討を図るべきであることを申し添えます。</p> <p data-bbox="483 1137 770 1171">2 答申に至った理由</p> <p data-bbox="483 1193 882 1227">(1) 道路整備の必要性について</p> <p data-bbox="507 1261 1410 1485">① 道路を整備することにより、入間市駅を中心とした回遊性が向上し、稲荷山公園駅方面や国道16号方面から入間市駅への交通の利便性が増す。また、通学する学生等の道路利用により、道路を中心とした留保地を含む入間市駅周辺の活性化が期待される。</p> <p data-bbox="507 1518 1410 1742">② 道路整備が留保地全体を分断するという懸念があるが、残る土地に一定の面積が確保されていることや、利用計画の中で活用方向が示されることから、道路が土地活用の選択肢を狭めたり、土地の一体的な活用を制限したりするものではない。</p> <p data-bbox="483 1776 850 1809">(2) 道路の整備時期について</p> <p data-bbox="507 1832 1410 1933">道路の形状、ライフラインの埋設等を考慮すると、道路周辺の土地利用を踏まえて道路を整備する必要がある。</p> </div>

発 言 者	発 言 内 容
委員一同 関根会長	<p>※ なお、審議の過程において、次のような意見もあったことを申し添えます。</p> <p>① 高低差がある土地形状のため、道路周辺の施設整備に制約の生じないような道路を計画すべきである。</p> <p>② 整備する道路は、歩行者や自転車の利便性及び街灯の設置や見通しの良さなどの安全性にも配慮すべきである。</p> <p>③ 年数経過により事業効果が減少しないよう、道路整備決定後はなるべく早期に事業着手すべきである。</p> <p>④ 土地利用のテーマや景観に一体性のある道路を整備し、地域の特性や魅力あるまちづくりにつなげていくべきである。</p>
	<p>(異議なし)</p> <p>では、答申内容を決定したので、「答申案の最終確認について」の議題は終了とする。議題が全て終了したので、議長の任を解かせていただく。</p>

議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和²年10月28日

議 長 の 署 名

関根 栄一

議長が指名した者の署名

池田 拓